

フォト・ニュース



11月23日
第13回外国人による日本語スピーチコンテスト

商工会館大ホールで6か国15人の外国人が参加して日本語スピーチコンテストが開催されました。



11月22日
青年海外協力隊員
市長表敬

青年海外協力隊の松島^{ひろし}大隊長が、派遣国のルーマニアへ出発するにあたり、富岡市長を表敬訪問しました。



11月18日
ポール・オコーナー校長
市長表敬

インパーカーギル市のジェームズ・ハーゲストカレッジのポール・オコーナー校長が、県立熊谷西高校との姉妹校提携式典に出席するにあたり、富岡市長を表敬訪問しました。

11月14日 県民の日 児童・生徒 お茶に親しむ会

県民の日に星溪園で、県立熊谷女子高校・県立熊谷西高校・熊谷市立女子高校の茶道部の生徒によりお茶会が開かれました。



熊谷市産業祭

11月19・20日
熊谷市産業祭・第1回熊谷市
スポレクフェスティバル

熊谷スポーツ文化公園内で、熊谷市産業祭が開催され、「くまがや弁当」の販売などが行われました。また同時に昨年行われた彩の国まごころ国体を記念して、スポーツ・レクリエーションのイベントが開催され、多くの来場者でにぎわいました。



スポレクフェスティバル(小学生リレーカーニバル)

11月15日
学童野球チーム
「熊谷グリーンタウン」が
関東大会へ出場

日本ハム旗第7回学童軟式野球秋季大会関東大会出場に向け、富岡市長を表敬訪問しました。



11月21日 文化ともしび賞、シラコバト賞の受賞を報告

「ヴォーチェ・デル・クオーレ」が埼玉県の「文化ともしび賞」を「群緑短歌会(熊谷支部)」が「シラコバト賞」をそれぞれ受賞し、富岡市長に報告の表敬訪問をしました。

11月26日
大里中学校野球部 準優勝

第5回埼玉県中学生K-Ball大会が参加62チームで開催され、飯能市で行われた決勝戦で大里中学校野球部が準優勝しました。

(K-Ballとは軟球でありながら硬球の特性を有するボール)



11月12・13日
第2回男沼文化作品展

男沼公民館で第2回男沼文化作品展が、出品者88名、127点の作品を集め開催され、たくさんのお見学者が訪れました。



11月25日 小島小・中学校 こじまふれあいフェスタ

県内唯一の小・中学校同一校舎の学校である、小島小・中学校で地域のお年寄りと一緒に楽しく交流する「こじまふれあいフェスタ」が開催

され、古代米のおにぎりづくりや蕎麦打ちなどが行われました。



11月12日準決勝 熊谷工業高(橋) 対 所沢北高(橋)

11月19日 高校ラグビー 熊谷工業高校準優勝

熊谷ラグビー場で行われた全国高校ラグビー大会埼玉県大会決勝で、熊谷工業高校が深谷高校に惜敗し、残念ながら準優勝に終わりました。

くまがや 見る聞く歩く 東西南北

行不能となり、補修を繰り返してききました。平成16年に開催された秋季国体のメイン会場に熊谷がなったこともあり、県が橋の架け替えを行い、旧久下橋は新橋の完成6か月後撤去されました。

旧久下橋記念碑

久下地区の自治会長などが「若い世代に、地元の誇りと思いを伝えたい」と久下橋記念碑建設を呼びかけ、389



増水で交通止めになった旧久下橋

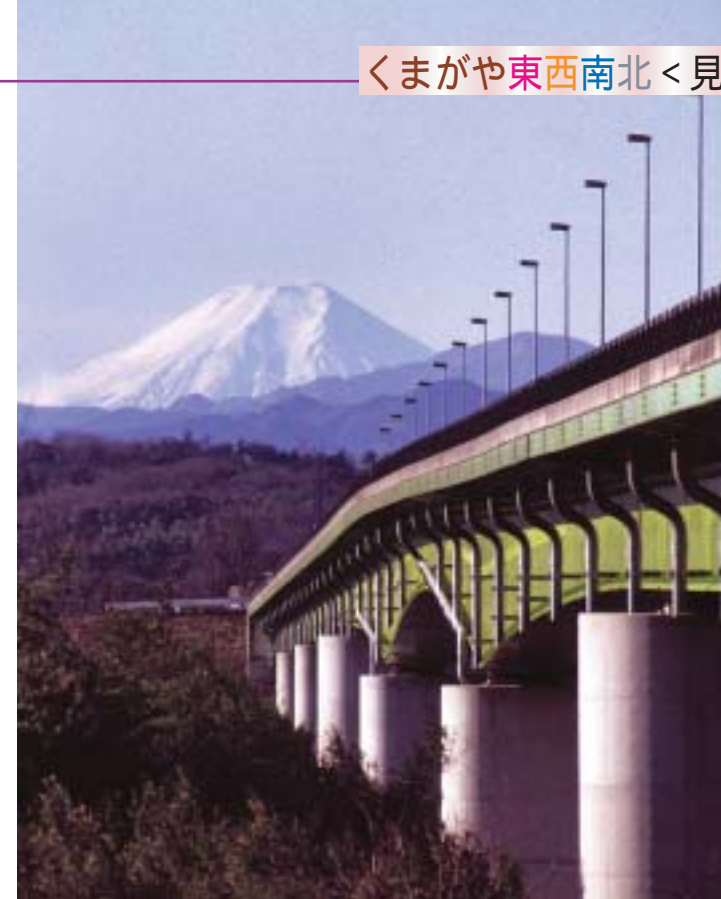


旧久下橋記念碑



関東の富士見100景選定証

関東の富士見100景とは
富士山を背景とした良好な眺めが得られ、景観の保全や活用が望まれる公共的空間について国土交通省関東地方整備局が公募し、1都8県から129件の応募がありました。山梨大学大学院教授を委員長とする8人の委員会では、富士山の見方や視点場の快適性、観光振興やまちづくりへの展開の可能性などから平成16年10月に63景を選定しました。その後、平成17年10月に追加選定が行われ、128景が富士見100景に選定されています。



久下橋と富士山

関東の富士見100景「久下橋」 真正面に富士山が見える

平成16年10月、「久下橋」が「関東の富士見100景」に選定されました。「自動車で行きながら真正面に富士山が見え景観的に評価できる。旧久下橋とあわせて市の観光資源となる」ことが期待できる。と選定委員に評価されました。平成15年6月に開通した「久下橋」は、冬晴れの日に国道17号の佐谷田(南)交差点から大里方面へ車で向かうと、運転席の真正面に富士山の姿がはっきりと見えます。また、「久下橋」の歩道や荒川土手を歩くと富士山だけではなく、南西から北へ比企丘陵、秩父連山、妙義山、浅間山、赤城山、日光連山、東には筑



車が譲り合って通行した旧久下橋

波山と関東平野を取り囲む山々を一望することができます。初春に最もふさわしい山「富士山」や冬景色の山々を熊谷の新名所「久下橋」からお楽しみください。

旧久下橋

旧久下橋は昭和30年に架設された木造の冠水橋でした。全長280メートル、幅はわずか3メートルであり、対岸に車の姿が見えるとお互いに譲り合ったため「思いやり橋」と呼ばれていました。台風などで荒川が増水すると通



久下橋から望む熊谷市街と赤城山



赤く染まる富士山

の個人と団体から集まった募金で、高さ約2メートルの記念碑が平成16年9月に旧久下橋の北側の荒川土手の上に建てられました。上田清司県知事の揮毫で「久下の渡し 冠水橋跡」と刻まれています。隣には、



着飾った新成人

「ここに思いやり橋と呼ばれた久下冠水橋がありました。」と説明板があります。

元旦の赤富士

平成17年の元旦は前日の大晦日に降った雪で道路はアイスバーン状態でした。足元に気をつけて久下橋のたもとに土手に富士山を見に行くと、10人近くのカメラマンが初日の出を待っていました。

成人式

昨年の1月10日の成人の日には、和服に着飾った新成人が、富士山をバックに記念撮影に来ていました。ここは記念撮影の新しいポイントになりました。



大里行政センターと富士山(久下の荒川堤から)



きりえの素晴らしさを外国にも

きりえ創作 岡村 靖^{やす}之^{ゆき}さん（妻沼）



自宅の作業場にてきりえを創作する様子



大小さまざまなきりえ作品と岡村さん

きりえとの偶然の出会い

私がきりえを始めたのは、まだ仕事をしていた14年前に、群馬へドライブに出かけた時、偶然きりえの作品展を見たことがきっかけです。そのとき直感で、「これなら趣味として自分でもできるんじゃないかなあ。」と思ったんです。当地の同好会に入会して2年程勉強しましたが、その後はほとんど独学で作り続けてきました。現在は、「妻沼きりえ同好会」に講師として携わるほか、埼玉や東京で開催される作品展に定期的に出品したり、毎年カナダと、昨年は中国で開かれた作品展にも出品しています。

白と黒のみで表現する魅力

私が考えるきりえの魅力は、白と黒の2色だけですべてを表現するところと、刃物はカッターナイフ一本で作れることです。題材を忠実に表現して作品を仕上げたときの満足感は、何



本号のために作成いただいた「福寿草」

物にも変えられません。カラーで表現するきりえ創作もありますが、私は白黒だけの作品づくりにこだわっていきたくと思っています。

また、作品の題材は常に地元から探すよう心がけています。しかし、このたび合併したことをきっかけに、今後は旧熊谷・大里地域からも題材を取り上げて、たくさんの人々に見ていただきたいと思っています。今の夢は、自分の作品を多くの外国人に見てもらい、きりえを通して日本の素晴らしさに触れてもらうことです。そのために、今後とも精力的に作品展に出品していきたいと思っています。

今月の料理人は大野の 鈴木 治代さん

地場産野菜で Oh!フレッシュクッキング

ねぎの定番料理 ねぎめた

材料（4人分）

ねぎ.....4本 切りごま...大さじ2
みそ.....大さじ2 酢.....適宜
砂糖.....大さじ2

作り方

ねぎは4cmくらいの長さに切って、蒸し器で蒸し、ざるにあげて冷まし、水分を自然にとる。砂糖、みそ、ごまをすり鉢に入れ、よくすり混ぜる。

を軽くしばって の中へ入れて、よく混ぜ合わせる。

好みで酢をかけて出来上がり。

ねぎの他に、いか・ちくわを加えてもおいしいです。



農業振興課
内線442

人口と世帯 平成17年12月1日現在

人口 195,123人(+428) 男 97,989人(+432)・女 97,134人(-4) 世帯 74,457世帯(+486)

「市報くまがや」は、自治会や区を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。URL <http://www.city.kumagaya.lg.jp>市報くまがや」は毎月1日(原則)に発行します。